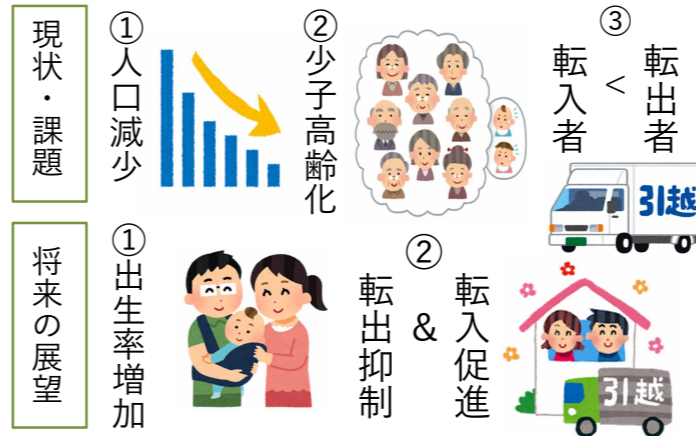


人口ビジョンと地域創生戦略のイメージ

南丹市人口ビジョン



第2期南丹市地域創生戦略

地域創生のテーマ

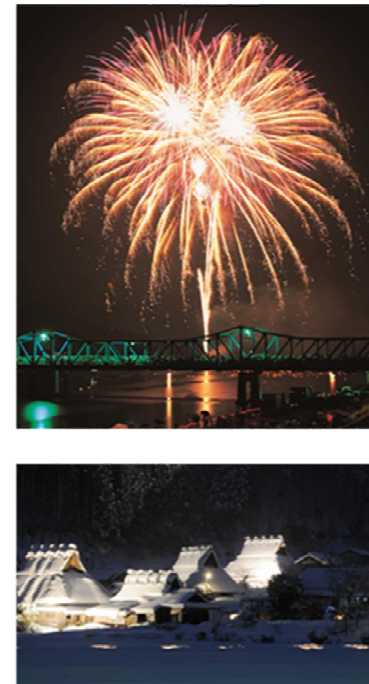
“未来に輝く南丹市をデザインする”

基本目標の概要(2020~2024年)

- ① しごとについて **目標達成!**
- ② 移住・定住・交流について
- ③ 結婚から子育てについて
- ④ 地域づくりについて



南丹市人口ビジョン



南丹市第2期地域創生戦略



概要版



南丹市人口ビジョンとは

南丹市の人口の現状を分析し、今後目指すべき将来の方向性と2060年までの人口の将来展望を提示したものです。

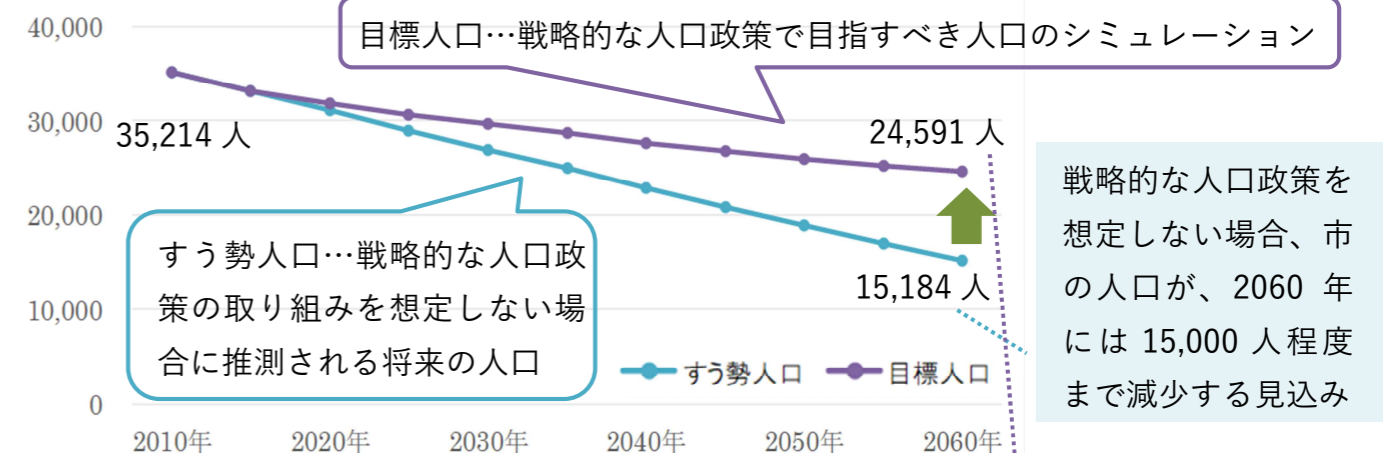
第2期南丹市地域創生戦略とは

「南丹市人口ビジョン」を踏まえ、今後5か年の南丹市の目標や施策などをまとめた戦略です。第1期地域創生戦略(2015~2019)を踏まえ、新たに2020年度から5年間の戦略である「第2期南丹市地域創生戦略(2020~2024)」を策定しました。

南丹市の人口の現状・課題

- ・ 1995年以降、総人口は一貫して減少【1995年：37,841人→2015年：33,145人】
- ・ 少子高齢化が進行【2015年：老年人口約33%、年少人口約11%】
- ・ 2013年以降、自然動態(出生数-死亡者数)は全てマイナス【出生数<死亡者数】
- ・ 社会動態(転入-転出)は2016年を除き、転出超過【転入者<転出者】

南丹市の人口の将来展望



戦略的な人口政策により↓

- ・ 合計特殊出生率を2020年に1.6、2030年に1.8、2040年に2.07まで上昇
- ・ 2020年に純移動率ゼロ(転入=転出)、2025年に転入超過(転入>転出)に転換
- ・ 2025以降は転入者増加を維持

➡ 2060年において24,600人程度の人口規模を目指す



第2期南丹市地域創生戦略の概要

基本目標1 しごとをつくり、そこで働くひとをふやす

(1) 南丹市の特色を活かしたしごとづくりと企業誘致

ものづくりをはじめ、最新技術や豊かな地域資源を活用するしごと、あるいは都会以外で働く選択肢として多様な「しごと」を創出し、就業の場の拡大に向けて、不動産ストックを活用した企業誘致を進めます。

事業例

- 国内外の企業誘致の推進 ●企業向け相談事業、空き物件活用
- ICT技術による情報発信・共有の推進 ●特産品を活かした生産振興



(2) 地域産業の担い手となるひとづくりと市内就職・起業支援

都市近郊の便利な田舎ならではの資源や環境を活かして、多様な価値観に応じた就業支援や人材育成を行い、地域で働くひとを増やします。また、後継者や経営に悩む事業者を支援し、地域産業の衰退を防ぎます。

事業例

- 事業所の雇用促進支援 ●観光による地域の雇用促進 ●農業者への就農・営農支援 ●農業や林業などの地場産業や伝統産業の担い手育成・支援



基本目標1の達成度を測る指標

①誘致企業就業者数 3,100人 ②誘致企業地元雇用率 36.1% ③認定農業者数+認定新規就農者数 150人

基本目標2 南丹市への新しい人の流れをつくる

(1) 定住・移住促進に向けた取り組みの推進

定住促進サポートセンターなどを活用し、移住促進に向けた情報発信や相談事業、空き家バンクなどの取り組みを推進するとともに、市内在住者にも、本市に住み続けてもらえるような取り組みを進めます。

事業例

- 空き家バンク活用推進 ●空き家の家財撤去費の助成 ●ガイドブックやWEB等での情報、魅力発信 ●地域おこし協力隊の活動推進 ●遊休土地・農地の利活用支援



(2) ファン獲得に向けた南丹市の魅力創出・歴史文化振興

かやぶきの里、園部城などの歴史文化や、農業体験などの都市農村交流、豊かな自然を観光資源として活かし、森の京都の広域連携にも積極的に取り組むことで、南丹市のファン(交流・関係人口)の獲得を図ります。また、オリンピックなどの国際的イベント開催に伴い、海外に対してもPRと誘客に取り組みます。

事業例

- シティプロモーション事業 ●文化財や景観の保存と活用 ●農業体験や農家民宿の推進 ●インバウンド向け体験コンテンツの充実化支援 ●南丹市に関する作品による聖地化、地域活性化 ●鉄道駅・車内への広告掲載・掲出



基本目標2の達成度を測る指標

①転入者 1,408人/年 ②転出者 1,251人/年 ③観光入込客数 270万人/年 ④観光宿泊客数 120,000人/年

基本目標3 結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる

(1) 結婚・妊娠・出産・子育てを後押しする環境づくり

結婚から子育てまでの負担を軽減する施策により、安心して子どもを産み育てられる環境の充実を図ります。また、結婚・出産をしても働き続けられる環境整備を通じ、男女共同参画社会の実現にも取り組みます。

事業例

- 婚活事業、セミナーの実施 ●子育て家庭への訪問相談、経済的支援 ●保育所・幼稚園等の施設環境整備 ●子育てしながら働き続けられる職場環境の推進



(2) 子ども達が地域に愛着を持てる教育や取り組みの推進

市内の学校と連携しつつ、子ども達が本市に愛着を持ち、住み続けたいと思ってもらえる教育、取り組みを推進します。また、子ども達の地元企業への就職に繋げるキャリア教育や企業連携にも取り組みます。

事業例

- 学校や生涯学習関連施設の整備 ●子ども議会の開催 ●高校までの医療費助成 ●学校間の連携・交流 ●地元食材を用いた食育 ●学生と企業を結びつける仕掛けづくり



基本目標3の達成度を測る指標

①婚姻数 115件/年 ②出生数 220人/年 ③子ども女性比 20.0% (0~4歳人口/15~49歳女性人口)

基本目標4 誰もが安心して暮らし、活躍できる地域をつくる

(1) 誰もが住み続けたい安心・安全な地域づくり

市民の誰もが支え合って安心・安全に暮らせるように、地域活動での関係づくりなどの共生社会の構築に取り組みます。また、万一の災害に備えた体制強化やインフラ整備、公共交通の充実なども行います。

事業例

- 公営医療機関の設置 ●市民の健康づくりの推進 ●公共交通の利便性向上 ●情報通信基盤の整備・充実 ●地域活動の活性化支援 ●防犯対策と体制の充実 ●災害に強いインフラ、各施設の整備・長寿命化

(2) 市民とともに歩む地域づくり

多様化する地域課題の解決に向け、地域を牽引する人材の発掘と育成に取り組みます。また、市民提案の事業への補助や、地域活動支援など市民協働の取り組みを通じて地域コミュニティの衰退を防ぎます。

事業例

- まちづくり活動交付金事業 ●地域リーダーの養成 ●自主振興組織の設立支援 ●南丹市まちづくりデザインセンターの運営 ●市民ワークショップの実施



(3) 次代に繋ぐ連携の地域づくり

既存の施設等を有効活用してハード整備の負担を減らし、人口減少に対応しつつ、市民満足度の向上に取り組みます。また、近隣自治体や京都府と連携し、住民ニーズや広域化する行政課題に対応していきます。

事業例

- 廃校舎を活用した地域の拠点づくり ●施設管理の効率化 ●森の京都ブランドPR等、広域連携した観光振興 ●上水道施設やごみ処理施設の広域運営 ●旧4町間の連携を深める取り組み

基本目標4の達成度を測る指標

①南丹市が住みやすいと感じる市民の割合 68.3% ②市民の地域活動参加率 60.9% ③防災の面で安心して暮らせるまちだと感じている市民の割合 42.3%

